

ドライブレコーダーの重要性について

2025.2.24

組立課 菅野真紀

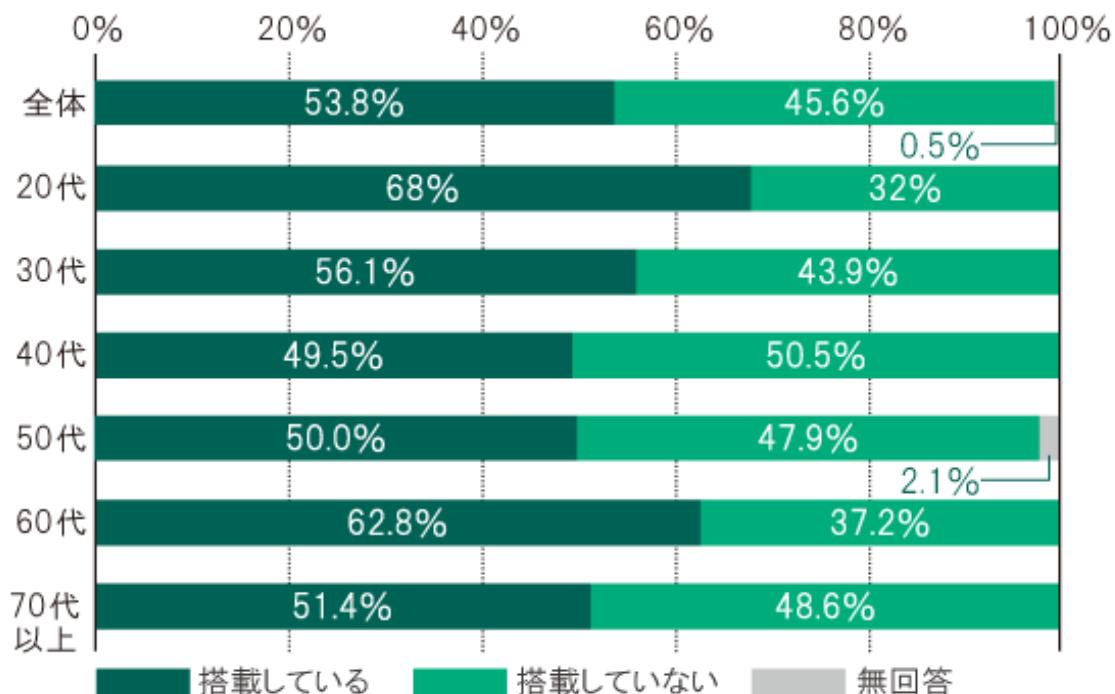
お疲れ様です。技研の菅野です。

皆さんの車にはドライブレコーダー（ドラレコ）は搭載されていますか？

ドライブレコーダーは、急停止や衝突などで車に衝撃が加わった時、前後数十秒間の映像・音声を記録する車載装置です。ドライブレコーダーによって走行中の時刻、位置、前方映像、加速度、ウィンカー操作などを映像・音声で録画し、駐車中の録画やGPS機能を使った走行データの記録なども行うことが出来ます。

ドライブレコーダーは、国土交通省が2020年に行った「国土交通行政インターネットモニターアンケート」によると、自家用車を保有している人の中で、車にドライブレコーダーを搭載していると答えた人は、53.8%となっています。

■ドライブレコーダー搭載率



※国土交通省の「国土交通行政インターネットモニターアンケート
自動車用の映像記録型ドライブレコーダー装置について」
(2020年12月)を参考にしています。

ドライブレコーダーを取り付けるメリット

- 証拠を残すことができる
- 駐車中の録画ができる
- 安全運転をサポートできる
- 自分の運転を見直せる
- 危険運転を抑止できる

今回は実際に我が家で起きた自動車事故についてお伝えします。

昨年、家族が自動車で一時停止を無視した車とぶつかるという事故がありました。

事故を起こしたのですから当たり前にお互い止まり警察に連絡をする義務がありますが、相手の車がそのまま逃げてしまいました。

不幸なことに我が家にドライブレコーダーがついていなく、逃げた車のナンバーも見ていませんでした。人通りの少ない細い道の住宅街で夜9時を過ぎていたこともあり目撃者もいませんでした。

一つだけ手掛かりとなる逃げた車の前側のバンパーが落ちていました。

大きな部品なのですぐに相手の車が見つかると思っていたが

4ヶ月経過した今も見つかっていません。

警察にも「ドラレコがあればなあ。」と何度も言われるほど事故の捜査には必要でした。今回我が家は今のところ泣き寝入りの状態です。

ドラレコを付けていなかったことを後悔したのでまだ付けていない方はこの機会にドラレコの搭載を検討してみてください。